

「総合的な学習の時間」を支援して



新本部長による挨拶



衛生隊にて雑菌を測る機械を体験

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は、2月1日（木）～2日（金）、相模原市立相陽中学校（相模原市南区）の職業体験を支援しました。

相陽中学校では、生徒が仕事を実際に体験したり、働く人々と接したりすることを通して、自らの働き方や生き方について学び考える機会となるよう、「総合的な学習の時間」での職業体験を実施しており、今回は、2年生の生徒20名が参加してくれました。

初日は、相陽中学校において、基本教練、ロープワーク、メジャー等を使用しない物の測り方、簡易担架によるチーム対抗の患者搬送などの訓練や、体力測定を実施し、本部長の大谷一海佐もその様子を視察しました。また、2日目は、海上自衛隊厚木基地において、資料館や衛生隊、航空管制隊の見学や、装備品（P-1）の見学を実施し、体験喫食も行いました。

生徒たちは、「基本教練をうまく実施できたときに達成感があった」、「チーム対抗の患者搬送では、団結心が出て楽しかった」、「航空管制のシミュレーターでは、言葉を発するタイミングが難しく、英語が片言になりましたが貴重な体験でした」、「体験喫食したカレーがおかわりしたいほどおいしかった」、「自衛隊の生活を体験してみたい」と、自衛隊に興味を持ってくれた様子でした。

相模原地域事務所は、「今後も、地域の中学校との連携を密にしながら自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としています。



物の測り方を体験



体力測定



体験喫食

